ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市菅田保育所改築地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	ＮＯ．１	調査位置	千葉市緑区菅田町２丁目２９８番地			北緯	
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課			調査期間	平成　９年　７月１６日～　９年　７月１９日	東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	KBM +11.915m	角度	上180° 下0° 90°	方向	北0° 東90° 南180° 西270°	地盤勾配	水平0° 鉛直90°
総掘進長	20.35m	使用機種	試錐機：ＫＲ－１００　ハンマー落下用具：コーンブーリー　エンジン：ＮＳ－７５　ポンプ：Ｖ－６				

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	10.26	1.65	1.65		盛土・粘性土・ボク土	暗茶褐			粘性土主体とし間に砕石、砂質土混入する。
2	9.86	0.40	2.05		黒ボク土	暗茶褐		非常に軟らかい	黒ボク土主体。木根を若干混入する。
3					ローム	茶褐		軟らかい	炭化物少量混入し、下層部に粘土分多く含有する。
4	7.91	1.95	4.00						
5					凝灰質粘土	乳黄灰		軟らかい	粘性大。炭化物少量混じえ部分的に酸化状を呈す。
6									
7	5.01	2.90	6.90		粘土混じり浮石	茶褐	非常に緩い		7.20m付近固結したスコリア、浮石を混入。7.40m付近含水多く粘土分多量に混入する。
8	4.31	0.70	7.60						
9									
10									
11					細砂	黄褐灰	中位～非常に密な		粒子不均一。含水少ない。8.00m所々黒褐色を呈する。9.00m茶褐灰色に変化する。10.00m粘土分若干含有し、含水中位。11.00m黄褐灰色に変化し、炭化物少量混入。12.00m粘土分若干混入。13.00m以深粒子細かく均一含水少ない。16.25m付近中砂混入する。粒子均一。含水少ない。混入物少なく均質。
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20	-8.43	12.75	20.35						
21									
22									
23									
24									

孔内水位(m)／測定月日：7/16 5.40▽

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.65	1/20	1/15		2/35	1.7
2.00					
2.15	1/15	1	1	3/35	2.6
2.50					
3.15	1	1	1	3/30	3
3.45					
4.15	1/20	1		2/30	2
4.45					
5.15	2	2	1	5/30	5
5.45					
6.15	1	1	1	3/30	3
6.45					
7.15	1	1	2	4/30	4
7.45					
8.15	14	17	19/9	50/29	49
8.44					
9.15	15	19	15	49/30	27
9.45					
10.15	7	9	11	27/30	23
10.45					
11.15	7	7	9	23/30	28
11.45					
12.15	4	9	15	28/30	
12.45					
13.15	20	30		50/20	
13.35					
14.15	14	19	17/8	50/28	
14.43					
15.15	22	28/8		50/18	
15.33					
16.15	20	30/8		50/18	
16.33					
17.15	15	19	16/8	50/28	
17.43					
18.15	24	26/9		50/19	
18.34					
19.15	15	21	14/5	50/25	
19.40					
20.15	24	26		50/20	
20.35					

原位置試験

深度(m)	試験名および結果
2.50	孔内水平載荷試験

試料採取

深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1.65				
2.00	P-1	Ⓟ	粒度	
2.00	T-1	Ⓣ	物理 三軸	
2.80				
4.00				
4.80	T-2	Ⓣ	物理 圧密	
7.15				7/16
7.45	P-2	Ⓟ	粒度	
14.15				
14.43	P-3	Ⓟ	粒度	
				7/17
				7/18

ボーリング柱状図

調査名 千葉市誉田保育所改築地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	NO.2	調査位置	千葉市緑区誉田町2丁目298番地	北緯	
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課	調査期間	平成 9年 7月22日～ 9年 7月23日	東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	KBM +12.172m	角度 180° 上 90° 下 0°	方向 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配 水平 0° 鉛直 90°	使用機種
総掘進長	24.30m	試錐機	KR－100	ハンマー落下用具	コーンプーリー
		エンジン	NS－75	ポンプ	V－6

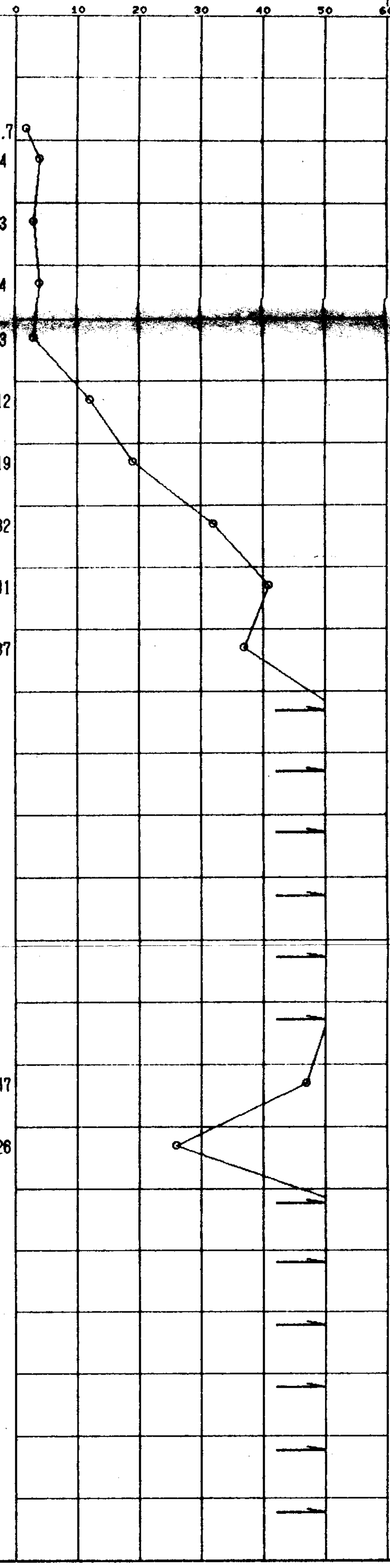
標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
11.87	0.30	0.30	盛土・ローム	暗茶褐			ローム主体。表層部砂層有り。
8.57	3.30	3.60	ローム	茶褐		軟らかい	上部多孔質であり炭化物少量混入する。下層部粘性大。
5.87	2.70	6.30	凝灰質粘土	淡黄灰		軟らかい	所々炭化物混入し粘性大。部分的に酸化状を呈す。5.20m付近含水多い。
5.27	0.60	6.90	細砂	茶褐			粒子不均一。含水中位。粘土分若干含有する。
4.87	0.40	7.30	凝灰質粘土	淡黄灰			粘性大。含水多く所々酸化状を呈す。
-7.58	12.45	19.75	細砂	茶褐～黄褐灰	中位～非常に密な		粒子不均一。含水中位。8.00m色調黄褐灰色に変化し炭化物少量混入。10.00m以深粒子均一となる。10.00m炭化物若干混入する。11.00m色調茶褐灰色に変化。12.00m色調黄褐灰色に変化し、茶褐灰色の細砂薄く挟む。17.00m浮石、粘土分少量混入。18.00m粘土分若干混入し、含水中位～多い。19.00m粒子不均一。含水中位。暗灰色の中砂少量混入する。
-11.43	3.85	23.60	貝殻混じり細砂	黄褐灰	非常に密な		粒子不均一。含水中位。貝殻破片多量混入する。22.00m以深貝殻破片少量混入する。
-12.13	0.70	24.30	細砂	暗褐灰	非常に密な		粒子不均一。含水中位。混入物少なく均質。

孔内水位(m)／測定月日: 7/23 6.30

標準貫入試験

深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.65～2.00	1/20	1/15		2/35	1.7
2.15～2.45	1	1	2	4/30	4
2.45～3.15	1	1	1	3/30	3
3.45～4.15	2	1	1	4/30	4
4.45～5.15	1/15	1	1/5	3/30	3
5.45～6.15	6	4	2	12/30	12
6.45～7.15	1	7	11	19/30	19
7.45～8.15	9	10	13	32/30	32
8.45～9.15	13	13	15	41/30	41
9.45～10.15	7	11	19	37/30	37
10.45～11.15	15	16	19/9	50/29	
11.44～12.15	15	17	18/7	50/27	
12.42～13.15	19	19	12/4	50/24	
13.39～14.15	16	16	18/8	50/28	
14.43～15.15	21	21	8/3	50/23	
15.38～16.15	15	17	18/4	50/24	
16.39～17.15	12	13	22	47/30	47
17.45～18.15	8	6	12	26/30	26
18.45～19.15	25	25/5		50/15	
19.30～20.15	50/9			50/9	
20.24～21.15	50			50/10	
21.25～22.15	42	8/1		50/11	
22.26～23.15	32	18/3		50/13	
23.28～24.15	29	21/5		50/15	
24.30					

N値



試料採取・室内試験

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験
1.00～1.80	T-1	(T)	物理 一軸 三軸
[illegible]～5.45	[illegible]	[illegible]	[illegible]
6.30～6.45	P-2	(P)	粒度
7.15～7.30	P-3	(P)	粒度
14.15～14.43	P-4	(P)	粒度
22.15～22.26	P-5	(P)	粒度
24.15～24.30	P-6	(P)	粒度

掘進月日: 7/22 (約20m)、7/23 (24.30m)